

## 平成21年度事務事業評価シート (20年度実施事業分)

事業番号		11 03 05	中期総合計画主要施策番号		3-09,5-06,5-09		担当課	部・課	建設部 道路管理課	
事業名		雪寒地域道路事業(公共【道路管理】)				内線		3403		
						E-mail		michikanri@pref.nagano.jp		
事業の概要等	事業の目的	・積雪・寒冷地域において防雪・凍雪害防止対策を行い、道路利用者の冬期間の道路交通を確保する。								
	事業の必要性	【現状(事業の目的との間にどのようなギャップがあるか)】 ・防雪施設について順次整備を進めてきており、整備率が19年度末で91%という状態であるが、雪崩危険箇所9箇所が未整備となっている。								
		【原因分析(ギャップが発生している原因は何か)】 ・県下の約5割が積雪地域に指定されており、冬期間の交通遮断は、産業、県民生活に大きな支障をきたす。								
		【課題の特定(事業の実施により解決しようとする課題は何か)】 ・雪崩・路面凍結・除雪後の幅員狭小により、一般交通に支障をきたしている箇所について、雪崩予防柵などの防雪施設や堆雪帯を設置し、冬期間の道路交通を確保する必要がある。								
	事業内容	雪崩・路面凍結・除雪後の幅員狭小により、一般交通に支障をきたしている箇所について、防雪施設や堆雪帯を設置する。 ・雪寒地域道路事業(補助率:【国】6/10、【県】4/10)・地方道路整備臨時交付金(補助率:【国】6/10、【県】4/10) ・地域自立・活性化交付金(補助率:【国】4.5/10、【県】5.5/10)								
実施期間	S31 ~	根拠法令等	道路法、積雪寒冷特別地域における道路交通の確保に関する特別措置法							
成果と達成状況	事業の目指す成果		達成度(期待どおり)の判定基準(H20)			達成状況		評価		
	・道路防災総点検における雪崩危険箇所の解消を図り、冬期間の道路交通を確保する。		雪崩危険箇所に防雪対策施設を設置し、整備率を95%まで増加させる。			整備率は96%となり、期待どおりの成果が得られた。		a.期待以上 b.期待どおり c.やや下回る d.期待以下		
事業コスト	区 分		単位	19年度	20年度	21年度(当初)	20年度の概要			
	最終予算額 (A)		千円	865,000	1,055,300	935,000	国庫・県単	公共		
	決 算 額 (B)		千円	771,527	824,117		実施方法	直接		
	B(H21はA)のうち一般財源		千円	201,611	102,331	189,838	歳出節別内訳等	H20予算現額(最終予算額+繰越額) 1,298,402 千円		
	概 算 人件費	従事する職員数	人	2.80	2.40	1.60	(単位: 千円)	1箇所当り平均工事期間 6.2 年		
	概算人件費 (C)		千円							
概算事業費 (B(H21はA)+C)		千円	771,527	824,117	935,000					
事業実績	内 容		単位	19年度	20年度	21年度(予定)	左記以外の20年度の実績			
	事業実施箇所数		箇所	9	7	3	・20年度完了箇所数 5箇所			
	雪崩危険箇所の整備率		%	91	96	97				
事業の課題	区 分		判 定 ・ 説 明							
	事業のニーズの変化		増加	横ばい	減少	判定の説明	・雪崩災害を防止する施設整備に対する要望は高く、必要性は依然として高い。 ・道路法により道路の管理は県が行うものとされている。 ・事業効果の早期発現のため、重点化・コスト縮減等を行っており、継続して実施する。			
	県の関与を見直す余地		余地なし	当面余地なし	余地あり					
	有効性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり					
	効率性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり					
	課題の総括		・雪崩危険箇所の未対策箇所は平成20年度末で4箇所あり、着実に整備を進める。							